

## 個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)

- 言葉の特徴やきまりに関する知識・技能
  - ・言葉の働き、役割
  - ・話し言葉と書き言葉の違い、共通語と方言の役割、敬語の働き
  - ・主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係などの文の構成
  - ・文章の構成や組み立て
  - ・表現の技法や工夫
  - ・語句の意味、類義語、対義語
  - ・慣用句、四字熟語
  - ・和語・漢語・外来語の使い分け
- 文字に関する知識・技能
  - ・平仮名、片仮名、漢字、ローマ字
  - ・仮名・漢字の由来、特質
- 書写に関する知識・技能
- 伝統的な言語文化に関する知識・技能
  - ・現代につながる言語文化の特質や意義
  - ・代表的な古典作品とその歴史的背景
  - ・文語のきまり、訓読の仕方
- 話し合いに関する知識・技能
  - ・司会者、提案者の役割
  - ・討論の仕方
- 情報収集に関する知識・技能
  - ・索引の利用、目次や奥付の見方
  - ・学校図書館等における情報検索の仕方

## 思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)

- 話す・聞く・話し合う、書く、読む際の目的を設定したり、目的を理解したりする力
- 目的に応じて話題や題材を設定・選択したり、本や情報を選択したりするとともに、話題・題材に応じて、必要な情報を収集する力
- 収集した情報を活用しながら、自分の伝えたい内容を表現するとともに、相手(書き手)の伝えたい内容を理解・解釈する力
  - ・自分の意図や立場を明示したり、受け手を想像したりしながら表現する力、相手(書き手)の意図や立場、場面、文脈を踏まえて理解・解釈する力
  - ・事実と意見を区別して表現したり理解・解釈したりする力
  - ・文と文の関係や情報と情報の関係(例えば、原因－結果、判断－根拠、問題－解決など)を明確にして表現したり理解・解釈したりする力
- より良い表現に気付き、自分の表現として使う力
- 伝えられたことを解釈して自分の考えをもつとともに、伝えることを通じて自分の考えを深める力
  - ・新しい情報を自分の知識や経験と結び付けて解釈する力
  - ・表現することを通じて、自分の考えを明確にし、再構築する力
- 考えを伝え合うことで、自分の考えを広げるとともに、集団の考えを発展させる力
  - ・色々な考えや意見があることや、それらには根拠や前提条件に違いや特徴があることに気付く力
  - ・他者の考えとの違いを捉え、自分の考えの妥当性や信頼性を吟味したり、異なる視点で検討したりする力

## 学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)

- ・国語や言語文化に対する関心
- ・国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者を理解するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度
- ・国語を通じて、自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度
- ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度
- ・言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度
- ・自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度